



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	悪影響を及ぼす活動はない。廃棄物の分別を行っている。						6.6								15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	インクカードリッジの再利用、紙のリサイクルに取り組んでいる。古着回収事業を実施している。									12.5		14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	洗濯回数削減に取り組んでいる。事務所内での節水に取り組んでいる。毎月使用料の確認を行っている。						6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	事業活動上、該当しない。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	事業活動上、該当しない。											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	事業活動上、該当しない。							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	事業活動上、該当しない。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	懲戒規程により周知徹底を図っている。年1回の連合会による運営支援監査・県監査を受けている。															16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	競争行為にあたる事柄が発生しないが、発生した時に備え職員教育を行っている。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	会員企業向けの特許・商標等知的財産権の取得・管理に関する相談を実施している。								8.2	9	8.3								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	服務規定により周知徹底を図っている。事務所内にシレッダーを設置し取断を実施している。機密文書は業者による消滅処理を行っている。重要文書は施錠できる書庫で管理している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物を取り扱っていない。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	職員・会員に対して倫理面に関する指導を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	パートナーシップ構築宣言を作成し公表している。			3					8	9	10							17	

※ 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
29	製品・サービスの	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	自治体・官公庁の規定に即したサービス提供に取り組んでいる。							3.9																													
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	会員事業者へのサービス向上のため、人材育成や連合会研修に参加している。職場内のコンプライアンス遵守と情報の取扱いに細心の注意を払っている。																9																				
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	業務全般にDXの活用に取り組んでいる。会議資料等は紙使用量の削減に取り組んでいる。										6										12	13	14	15													
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	小規模事業者支援として情報発信・情報提供に取り組んでいる。伴定型相談と地域貢献を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																			
33	地域貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域に与える影響を考慮し改善に努めている。																9				11	12															17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	登山道の清掃・整備、ゴミゼロ運動への参加、花のあるまちづくり事業の展開、農業委員など地域活動への参画、就労支援事業所(団体)への弁当注文、自然災害発生時の寄付金収集。																																				17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外銷)している	チャレンジ	地元商品を県内外の物産展等でPR・出店している。地域商材を優先的・積極的に利用している。																																				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	総会資料に重点方針を明記し周知している。役員が会議を通じ職員に説明し共有している。																	8			9																
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	会議・研修会でコンプライアンスを周知し共有している。																																				
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	役員・管理職により環境を整備している。																																				
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーとの対話を通じて、その影響を把握し適切な対応に努めている。																																				
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	危機管理マニュアルを整備している。会員事業者のリスクマネジメントとして保険・共済加入推進事業を行っている。																																				
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンスを重視して会の運営を行っている。会員事業者の状況を把握し行政等関係機関への意見・陳情活動を通じ会員の意見を反映させることにより社会的責任を果たす体制を整えている。																																				
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	危機管理マニュアルを整備している。事業継続力強化支援計画をガイドラインに従い作成している。																																				
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	経営支援員による会員事業者への事業承継の相談・支援および長野県産業振興機構が設置する事業引継支援センターと連携し対応している。																																					

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																						

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成  
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的に寄与する17ゴールに当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載  
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定